

清央小だより



令和7年度 第14号
2025. 8. 7

教 育 目 標	「夢いっぱい 友だちいっぱい 清央小」 ・自ら学び工夫する子ども (考 える) ・元気でがんばる子ども (鍛 える) ・礼儀正しく思いやりのある子ども(思いやる)
------------------	--

※ 本文は、ユニバーサルデザインのフォントを使用しています。
※ ホームページに掲載する際は、画像を一部加工することがあります。

HP > <https://www.ueis.ed.jp/school/kiyohara-c/>

夏休み特別号①

夏休みもそろそろ振り返り地点となりました。本当に暑い日が続いていて嫌になります。学校にいと、時間帯にもよりますが、主にフレンズの児童の声が響いていて、子供たちの元気いっぱいな様子が伺えます。

この夏休み中は、私の専門が美術ということもあり、ポスター作成の相談会を主に出勤する日に合わせて設けています。なぜ実施しようと思ったかと言いますと、ポスターの製作については、小学校の授業では扱わないからです。ポスターは伝達のデザインの領域となり、これを学習するのは中学校になります。そのため、もしお様が応募したいけどどう描いてよいか悩んでいるようなことがありましたら、お気軽にお申し出ください。

夏休み中、先生方は、懇談もありましたが、校内外の研修を行っています。道徳教育や学級経営に関すること、それぞれの研究教科の研修など、幅広く行います。

先生方には、夏休みに入る際、それらの研修に留まらず、大学の公開講座に参加するもよし、博物館や美術館などに行くもよし、自然体験するもよし、教師として、人として、幅を広げられるよう自己研鑽に努めるよう伝えました。

私は、7月30日、8月1日に行われた、東北造形教育大会秋田大会に参加して来ました。ちょうど知っている先生が授業をするということもあり参加したのですが、とても考えられた素敵な授業を参観し、大いに刺激を受けてきました。何かの形で先生方や児童に還元していきたいと思います。花火で有名な秋田県の大曲での開催でしたが、とても暑かったです。



栃木県立美術館のゴッホ展の入場者が2万人を突破した?!

東京都内の美術館の大型企画展でもない限り、地方の美術館の企画展では、1万人の来場者があれば、大成功とよく言われています。その中で、会期をまだ1か月近く残して2万人を突破するのは、驚きでしかありません。夏休みに入ってすぐ、知り合いの中学校の美術の先生が来館した際、「入場券を買う列ができていた！初めて見たかも・・・」と驚いていました。

ということで、何が話題かと言いますと、ゴッホの油絵が展示してあるのではなく、デジタルアートで絵を動かしたり、作品を立体化して展示したりしている、ちょっと変わった展示であるということです。普段とは違うアートの世界を、ぜひ体験してみてください。入場料も大人は1250円で（高いと思うかもしれませんが、東京の企画展などは2000円を超えるものもあることを考えると、お得です）、県内在住の高校生までは無料です。

【特設ホームページ】 <https://www.shimotsuke.co.jp/list/select/gogh2025>



なお、宇都宮美術館では、昨年度4年生以上の子供たちが本物の作品を触って鑑賞した、丑久保健一さんのコレクションも常設展示2として、展示されています。こちらも、ぜひ足を運んでみてください。5、6年生の皆さんは、ぜひ！

※学校の様子はホームページでも掲載しています。 (文責・写真：校長)